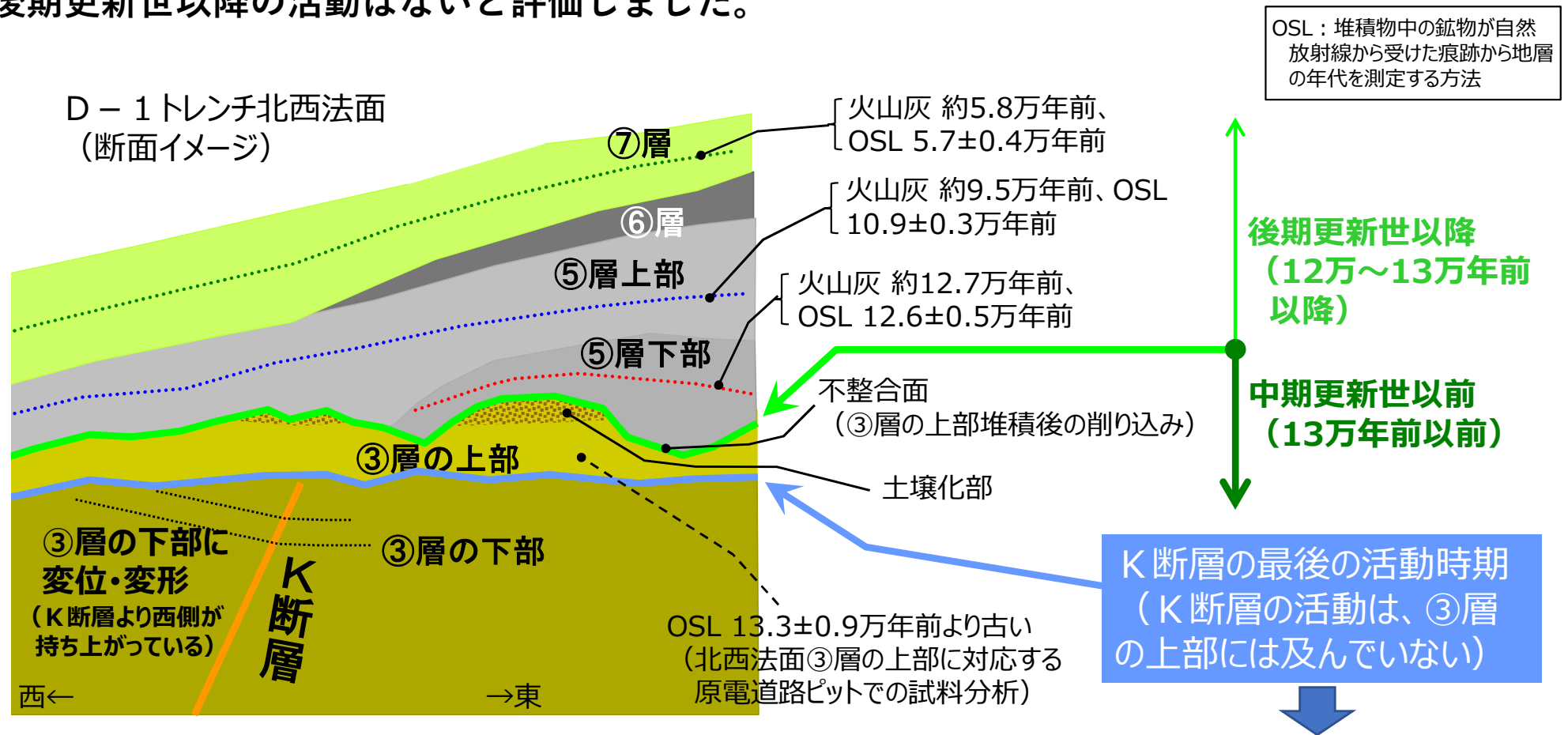


K断層の活動性評価（原電）

補正申請にて、当社は、K断層の活動性について、上載地層法、OSL分析手法などから、後期更新世以降の活動はないと評価しました。



**K断層は後期更新世以降
の活動はない。**

注) 堆積層中で分岐しているK断層、詳細な地質観察により細分化している③層については、簡略化して記載。
③層と⑤層の間の不整合面を「④」としていたが、地層区分ではないので欠番としている。

※原電道路ピット・ふげん道路ピットでも、
同様の評価結果が得られている。

D-1トレンチの堆積年代の評価（原電）

地層の堆積年代について、地形、堆積物の性状・層相、テフラや花粉、OSL年代測定などの各種分析結果など、さまざまな観点や各データを総合的に考慮した上で年代を評価しました。

年代	※1 地層名	色調	層相	テフラ分析	花粉分析	土壌分析		放射性炭素〔 ¹⁴ C〕年代測定	OSL年代測定	堆積年代
						土壌分類	遊離酸化鉄分析			
第四紀	後期更新世	黄褐色	礫混じり砂質シルトからなる。⑧層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	—	MIS2以降
		黄褐色	シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。	始良Tnテフラ(AT)の降灰層準を含む(約30~28ka)	—	—	—	—	—	MIS3とMIS2の境界付近
		⑦層	礫混じり砂質シルト〜礫混じりシルト質砂からなる。山地斜面では下位層とは平行不整合関係で、低地では下位層を削刺した不整合関係で接する。	大山倉吉テフラ(DKP)の降灰層準を含む(約59~58ka)	—	テフラ	OSLの結果がほぼ一致	—	57±4ka	MIS4~3
		⑥層	腐植質砂質シルト〜シルト質砂からなり、木片を多く含む。⑤層上部と整合関係で接する。	—	—	—	—	測定限界を超えていた(53,960年前より古い)	—	MIS5a~5b
		⑤層 上部	シルト質砂主体で、シルト層〜シルト質砂層が不連続に層状を呈し、腐植質シルトを含む。緩い西側傾斜で一定の層厚を示す。	鬼界高原テフラ(K-Ta)の降灰層準を含む(約95ka)	温暖期花粉を含む	テフラ	花粉	OSLの結果がほぼ一致	109±3ka	MIS5c
		⑤層 下部	シルト質砂主体で、シルト層〜シルト質砂層が不連続に層状を呈し、腐植質シルトを含む。北法面の東方に向かって層厚が厚くなる。③層とは不整合関係で接する。	美浜テフラ(Mh)の降灰層準を含む(約127ka)	温暖期花粉を含む	テフラ	花粉	OSLの結果がほぼ一致	126±5ka	MIS5e
	中期更新世	※	砂礫主体で、シルト層やシルト質砂層を層状からレンズ状に挟み、チャネルによる割れ込みが複数認められる。⑧層は、ロー1トレンチ北西法面では下位の②層及び①層とは不整合関係で接し、原電道路ビッドから南方では②層とは顕著な不整合関係は認められない。最上部には土壌化した地層が認められ、ロー1トレンチ北西法面から北法面にかけて広く分布している。	※2	—	土壌生成で発達したB層に対応	活性度は0.1より小さく、結晶化指数は0.7程度以上であり大きく風化が進行している	—	133ka±9kaより古い	約12~13万年前より古い
		③層	浅黄褐色〜橙	—	—	—	—	—	—	MIS6以前
		②層	にぶい橙〜灰白	—	温暖期花粉を含む	—	—	—	—	—
	古第三紀	①層	にぶい赤褐色〜明黄褐色	—	—	—	—	—	—	—
	基盤岩		※1 ④層の区分は設けていない。 ※2 MIS6のテフラを含む(降灰層準は認定できない)							

（凡例）

- : 整合境界
- : 当該の分析又は測定を実施しなかったもの、目的とした情報が得られなかったもの
- : 平行不整合境界
- : 不整合境界

- D-1トレンチに分布する地層は、花崗斑岩とそれを覆う第四系からなり、第四系は層相に基づき下位より①層〜③層及び⑤層〜⑧層の地層に区分した。

地層の堆積年代については、データ拡充等に努める。